

D05 深層インタラクション

対話相手の存在を感じられるアバターコミュニケーション

概要

人に酷似したアンドロイドアバターを用いれば、他者の存在を感じつつ、さらに物理的な身体を利用して、対面よりも親密なインタラクションを伴うコミュニケーションを可能にします。

特徴

- アンドロイドアバターを遠隔対話のインタフェースとして用いると、アンドロイドの人らしい動きによって、対話相手は、操作者がその場になくても、対面しているように対話することができます。
- さらに、離れた場所にいる2名が、互いにアンドロイドアバターを操作しながら、相手とインタラクションを行うことで、握手など互いに能動的に身体接触を行うコミュニケーションが可能になります。
- 本年度は、離れた場所にいる2名が、互いにアンドロイドアバターを操作しながら、相手と握手などの身体的なインタラクションを行えるデモを紹介します。

今後の展開

- 対話能力を拡張できるアンドロイドアバターを用いて、人同士のつながりを拡張することができるアバターの実現を目指します。

テーマ「京都府と共に創るいのちの未来」との関連

- アンドロイドアバターを用いたコミュニケーション技術の研究開発により、アンドロイドを用いた未来のいのちのあり方の探索に貢献します。

